adult only!
エキゾチック症候群
exotic syndrome

フン！
どうあっても
ここは通さん！
聞き分けの無い
悪党ね・・・
はぁ
はぁ
はぁ
素直に
道を開けた方が
身のためよ！
ほざけ！
小娘がッ！

はあッ

ぐぬう・・・
踏み込みが甘かったか・・・
どう？
まだ往生際悪く戦うつもり？
ちっ・・・・
やむを得ぬ・・・
・・・しかし
その前に・・・
自分の顔を鏡で見てはどうかな・・・？
！
フハハッ！
短刀だからといって油断したなッ！
あ・・・
何・・・ッ？
フラッ・・・
毒・・・？
だめ・・・っ
こんな・・・
とき・・・に
・・・っ・・・

う・・・？
ん・・・
エキゾチック症候群
by
黒龍眼
はっ!?
ここは・・・？

・・・やっとお目覚めかね？お嬢さん
?!
かすり傷とはいえ猛毒・・・
噂どおりだな
並の人間なら下手をすれば死にかねない猛毒であったが・・・
その治癒力・・・さすがは名のある戦士というところか
えっ・・・？
何・・・？
ますます気に入ったぞその瑞瑞しいからだ・・・生命力・・・
それでこそあのお方に捧げる「儀式」の生け贄にふさわしい！

ちょっと・・・
あっ・・・・・
儀式って
なにを・・・？
スル…
ひっ?!
んうっ・・・！
んうううっ！
きゃっ?!

ひいいいっ!!!
ぷりゅんっ
くっ・・・
ぐりっぐりっ
むぎゅっ
ひあっ
はむっ
そんな・・・触らないでっ・・・
はううっ!

あんっ・・・
おっぱい・・・しないでえっ・・・
だめえぇっ・・・ちくびっ・・・
あっ
あっ
はぁ・・・
はぁはぁっ・・・
ああっ・・・
さわっ
さわ
いっ・・・いやらしい手で撫で回すなあっ・・・

うぅっ・・・
はっ・・・恥ずかしいーッ・・・
さて・・・そろそろ中身の下ごしらえをはじめるとしようか
ふふふ・・・男の腕を斬り落とすほどの剣士とは思えない声だな？
ちがうっ・・・
びくっ
あぁっ！
そんなっ・・・

ああああっ！
あっ
はあっ
そんなとこ舐めちゃ・・・
ひくっひくっ
へっ・・・変になるっ・・・
嘘ッ・・・・・？
ばっ
ガ
そっ・・・それだけはあっ・・・

だめっ・・・
そんな太いの・・・
入らないよおっ・・・・
ひっ・・・・
うああああっ・・・・
奥まで入れないでえぇッ!!
いあっ
あっ
ひっ
くあっ
いやぁあっ・・・
いやあああっ!

ぐうっ・・・?
どうした？男のペニスがそんなに珍しいか？
んぐおっ?!
ならばなおさら雌としての躾をせねばなるまい！
ぐうっ！
おえっ！
んぐっ！

はっ・・・・？
嘘ッ・・・？
そこはっ・・・・
うあああっ!!

そっ・・・
ズンッ
そんなトコっ・・・
はっ・・・
はいらないいいいいいっ!!!
ぐうっ
がくがくっ
ひっ・・・・
あ
あ
あっ
グポッ
グポッ

んうううっ
グポッ
ぐううっ!
うぶっ!
ヂュッ
ドプッ
はあっ・・・
うああっ・・・
はあっ
ひいっ
ドクッ

はあっ
ああっ
いやあっ・・・・
しっ・・・・
死んじゃうぅっ・・・・
死んじゃうよおおっ
ひいっ
あうっ
ぐうっ

ひっ・・・
いやあああっ！
ビュルッ
ビュッ
ビュッ
なっ・・・
膣内はだめええっ！
ビュッ
おっ・・・
おなかのなかにっ・・・・
いっぱいでてるうううっっ!!
ドクッ
ドクッ

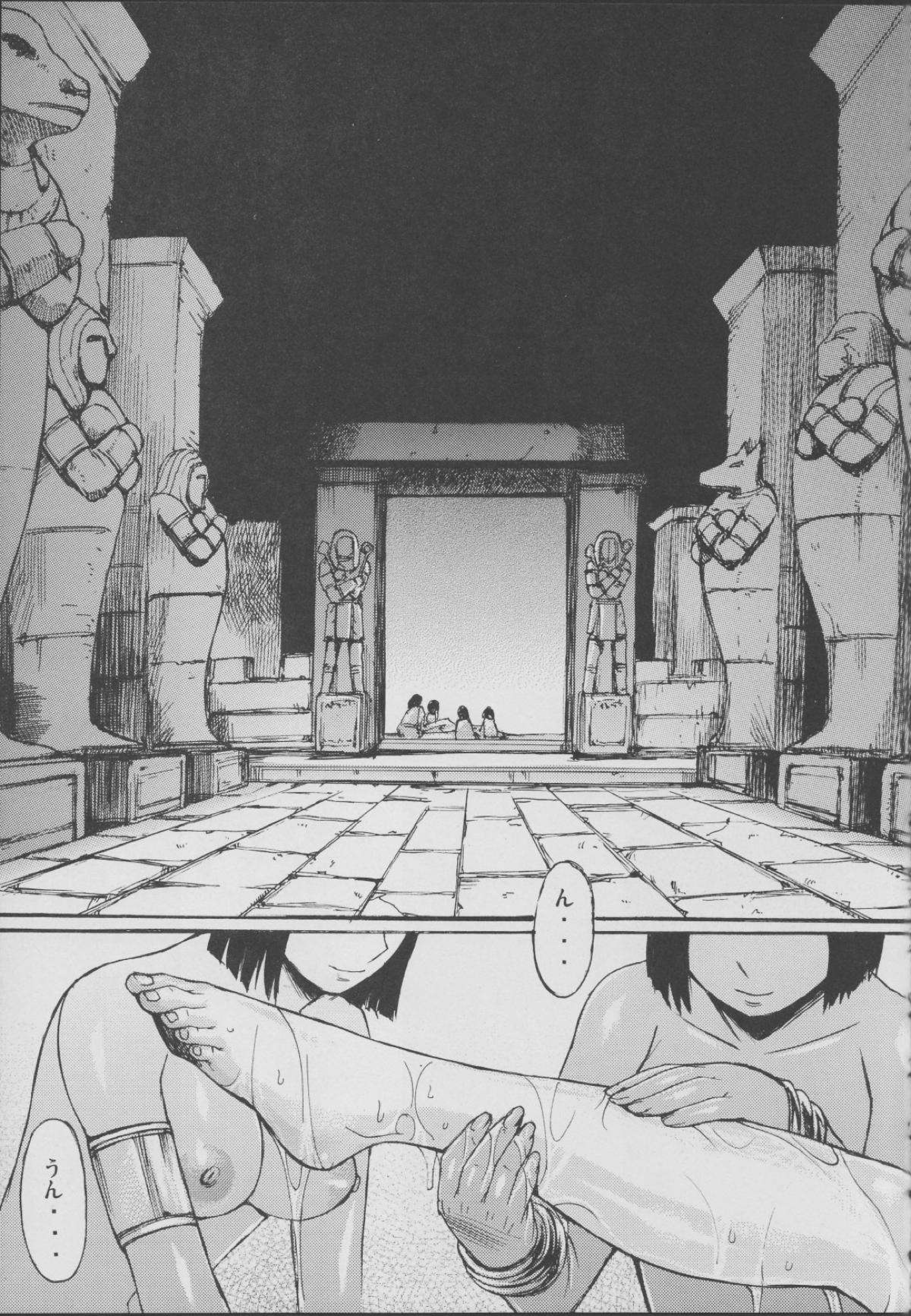
はあっ
はぁ・・・
はあっ
はひっ
男たちの肉棒にもてあそばれた気分はどうかな？
あふあっ
はぁ・・・
もう・・・ゆるしてえっ・・・・
まだまだこれからが「儀式」の本番よ！
なに・・・・？

うっ・・・
嘘おおッ?!
ひぃっ?!
ビクンッ
ビクッ
フハハハッ！
お前の陰核は
我が呪いでいきり立つ
男根となった！
いっ・・・
いやっ・・・・
その男根は
お前の生命力を
精液として吐き出す
ためのものだッ！

しかしお前の体は「儀式」の生け贄としてはまだ不十分・・・
ひいっ
いっ・・・・
これからお前に徹底的に生け贄としての作法を叩き込んでくれるッ！
いやあああ
あああああっ!!!

ウイーかったんだぜいいだろー
朝から並んで
まーたおめぇテレビにおごらせそんなもん買って
バーチャルコンソールって昔のゲームがネット上でDLできてさあ
これで押入れのハードいちいち出す手間省けるってワケだ
MSXとかもやれるんだぜ
アシュギーネとかガリウスとかメタルギアとか
どうせメジャータイトルばっかりで終わるってそんなの
ピンクソックスとか
どしどしふんどし
そりゃ無理だろう
出たらうれしいけどよ
エロトピア

chapter 2



ん・・・
うん・・・

そう・・・
いいわ・・・
とっても・・・

メナス様・・・
うん？
お楽しみのところ申し訳ありません・・・
・・・で？
「儀式」のための活きのいい生け贄は調達できたの？
はい
ご期待に沿えるものと思います
ホーンとかなぁ？
ウソだったら呪っちゃうゾ～
ご心配には及びません・・・

あら・・・・
ガラッ
ふーっ

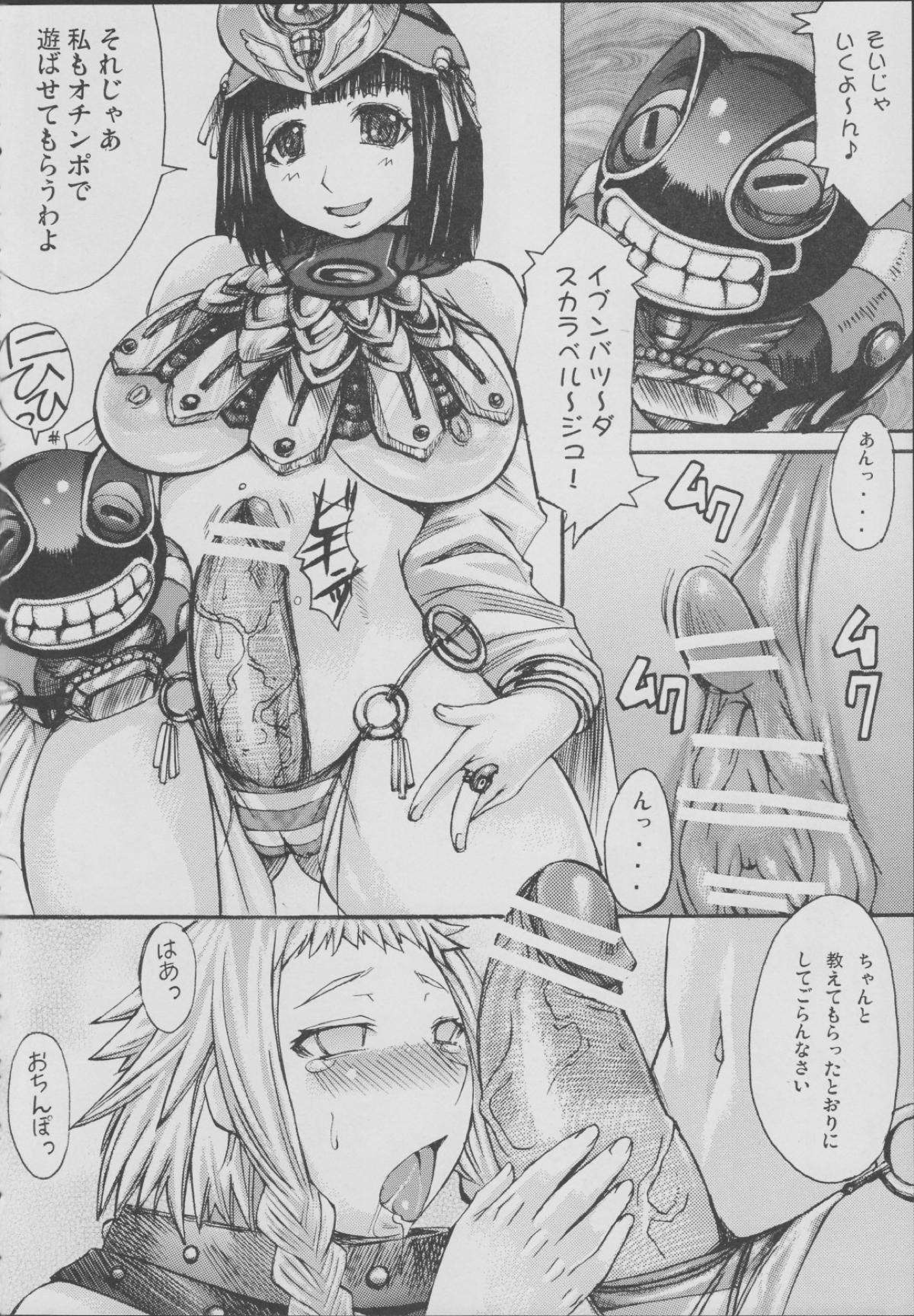
見たところ
ただの旅の女戦士では
なさそうで・・・
暗殺者の腕を
一刀の下に斬り落とした
ほどの使い手で
ございます
ふーん
なかなか
やるじゃないの
あの男ほどの使い手と
互角に渡り合えるなんて
・・・
肉付きもよくて
なかなか楽しませて
くれそうね
それはもう
周到に調教して
おりますゆえ・・・
ご満足
いただけるかと
えいっ♥
びくんっ
びくんっ

まずは
体の穴という穴に
精液を注ぎ込みー
そして
頃合いを見計らって
この女の陰核に
呪いをかけてー
同時に雌豚としての
作法を徹底的に体に
覚えこませます
完璧な雌豚の体として
作り変えてしまいます
さらに三日三晩
犯しぬくと同時に
射精の快楽を
覚えこませた後ーー
はあああああああ
理性のあるうちに
次の段階に
移ります

次の段階は精液を美味なものにするために秘伝の霊薬を男根に注ぎ込みます
あああっ
ひぁあ だめぇ
ドプ ドプ
はっ?!
どくっ
どくんどくんっ
限界まで注ぎ込んだあとは厳重に封印して中で熟成させます
しかし薬の副作用で男根は猛烈な疼きに襲われます
かっ…
かゆいっ ちんぽがかゆいのっ…
チンポ狂いの女は普段と同じように射精しようとしますが
しこっ しこ
折角熟成させた精液を無駄にしないようにある器具を与えます

男根を傷つけることなく
しごき抜くことが出来ますが
射精することが出来ぬまま
女は男根をしごき続けます
んはあああっ‼♥
おちんぽきもちいひいいっ‼♥
この器具は上質な樹脂で出来ており―
この動きを行うことにより
女をより従順にさせると
同時に精液を体内で
熟成させるのです
ぞくっ…♡
ふーん・・・・
そして三日三晩
発狂寸前まで
それを行わせたのが
この生け贄というわけです
聞いてるだけで
ゾクゾクしちゃうわね

さぁて
それじゃあ・・・・
♡
はぁ
はぁっ
あなたの精液
味あわせて
頂戴ね
ちっ・・・
ちんぽおっ！
ちんぽのなかあっ
びゅるびゅる
させてええっ！
慌てなくてもすぐに
いっぱい出させて
あげるわよ
♪
でもその前に
最後の仕上げを
しなくちゃね
ぷりんっ♥


そいじゃ
いくよ～ん♪
イブンバッツ～ダ
スカラベル～ジュ！
それじゃあ
私もオチンポで
遊ばせてもらうわよ
にへひひっ
ビキッ
あんっ・・・・
ムク
ムク
ムク
んっ・・・・
ちゃんと
教えてもらったとおりに
してごらんなさい
はあっ
おちんぽっ

そうそう
上手上手・・・
はぁ♥
はぁ♥
れろっ
れろれろ
はふっ♥
ちゃぷ
ちゃぷ
ふあっ♥
あらあら
この子ッたら
お行儀の悪い子ねえ
んぷっ♥
んぶっ♥
んぶっ♥
そんなにガッついたら
せっかくのお顔が
台無しよ
んぶっ♥
んぶっ♥
むちゅ♥
はむっ・・・

うんっ♥
ほひっ♥
そうよ・・・とっても上手にしゃぶれるようになったのね
ふうっ♥
ふあっ♥
んぶっ♥
おひんぽおっ・・・・ひはへへっ・・・・ひはへへへっ・・・・♥
んっ♥
んぶっ♥
あっ・・・
いくわよっ！

ドクンッ
ああっ♥
はうっ♥
あついっ♥
ちんぽおっ♥
さぁ・・・今度はいよいよあなたの番よ
にひひ
はぁ
はぁっ
はっ・・・はやくおちんぽほどいてよおおっ!!
びくん
びくっ
びくんっ
おちんぽが破裂しそうでおかしくなっちゃいそうなのおおッ!!
ぐ・・
ふふふ・・・

らっ・・・らめえ・・・・♥
ばっ・・・ばかになっちゃう ううっ・・・・♥
ビュルルッ♥
ビュル♥
あんっ・・・ちょっと・・・もったいないわよ
ビュッ♥
ぶしゃあああっ♥
ゴクッ
ゴクッ
ん〜っ
確かにこってりしてて私好みの味に仕上がってるわ・・・
あっ
あひっ♥
ち・・・ちんぽっ・・・とまらないよおおっ・・・・

大丈夫よ
私が全部
飲み干してあげるから
ねっ・・・
はあっ・・・・・
ムニュ♥
ムニュ♥
おっきくて
いやらしいおしりも
私のものよ・・・
あんっ♥
ずりゅっ
ずりっ
ビクンビクンッ
んはあっ♥
クチュ♥
クチュ♥
あふあっ♥

そうよっ♥
ふうっっ♥
んむっ♥
あんっ・・・
ほらあっ♥
スル・・
今度は私のオマンコに
濃いのいっぱい
ちょおだい♥
ぷりんっ♥

ほらあっ
ガッ
はやくっ
はやくっ・・・
はっ?!
グイッ
やっとスキを
みせてくれたわね・・・
えっ?
ズリッ
ズリュ
ううっ・・・

これ以上は・・・
我慢できない！
なっ・・・なにっ・・・・？
ひっ！
いあっ！
ああっ！
何をするつもり・・・？
あなたも私の味わった苦しみを味わいなさいっ！
びくっ
びくんっ
あああっ！きついーいっ！

いやよっ・・・
そんな勝手なマネは
させないっ・・・
あっ・・・・
ひあっ？
ギリッ
ギリッ
ギリッ
急にいっ・・・・！
ああっ！
そんなっ・・・・

いっ・・・
いたいよおおっ
オチンチンが
しまるううっ！
ズッ
アッ
アッ
ズッ
ああっ
ズッ
ズッ
ビクン
ビクン
はあああっ
やあっ
ギュッ

ズッ
どう・・・？オチンチンがせつなくて我慢できないでしょ？
やあんっ
ああっ・・・・
くあっ
ブリュ
ズッ
ズッ
こっ・・・・
こんな乱暴なのは嫌なのおおっ・・・

はああっ♥
はっ・・・
激しくなきゃ
だめなのよおっ・・・・
あは
はあ♥
んくっ♥
ひくっ♥
ひいいっ！
びくびくんっ♥
激しくしないと
おかしくなっちゃい
そうだからあっ・・・
もうおちんぽ無しじゃ
生きていけないカラダだから
激しくなきゃだめなのおおっ!!
パンパン
パンパン
はっ・・・？
やああっ！

ああんっ！
だっ・・・だめぇえっ！
ドピュッ
ドピュッ
ドクッ
ドクッ
おっ・・・オチンチンが破裂しちゃううっうっうっう！

ドプッ
ドプッ
ゴプッ‥
ズ
ポッ
はあっ・・・
む・・・
あはぁ♥
ちゅぽ
いっぱーい
ひろまぁっ♥
ドピュ
ビュッ
ビュッ
ドピュ
味は申し分ないけど
どうやら少し
仕込みが甘かった
みたいね・・・
もう一度
やり直しましょう

今度こそ
徹底的に調教して
味わってあげるわよ
ふふふ・・
ちゅぽ
はあっ♥
また前みたいに
正気を保って
私に刃向おうしても
次にその栓を
引き抜いた時に
正気を保っていられない
ほどにね・・・

あとがき

あ～しんどい・・・
どうもこんにちわ。皆さんお元気でしょうか。
今回本書を描くにあたって作業開始当初2冊に分けて片方を会場限定配布にして
もう一冊を一般販売とする計画を立てていました。
しかし前半部分を描いているうちに「なんだか勿体無いな・・・」と思ったからさあ大変。
最終的には通常の作業の1．5倍～2倍近くの作業量になってしまいました。
しかしこれでも後半部分で10ページほどカットしたりしているので実質60ページ近くの本に
なる可能性があったわけですが、作業時間の限界。
自分の作業能力の許容範囲を完全にオーバーーしてしまいました・・・
時間があったらあったでいろんなものを詰め込もうとする悪い癖と、神羅本を作ったときに経験した
「世界観周りの説明に乏しいものの補足説明」を必要以上に手間をかけてしまう悪い癖の
ツープラトン、そして予期せぬコピー機に置き忘れた原稿の紛失。
とにかく今回は物理的にかなりタイトな進行でした。
にもかかわらずどういうわけか進行自体は普段より終始ハイペースを崩すことなく、
中だるみを起こさないまま作業を終えることが出来ました。

それはさておき、作品解説を。
上述のとおり当初半分ずつの本にして前半のレイナのマンガを第零話、メナスとの絡みを第一話
といった具合にするつもりだったので後半少し内容をカットしています。
メナスの脚コキとかメナスが逆にオナホールで攻められるなど何個かメナスを攻める要素が
あったんですけど時間の都合で泣く泣くカット・・・原稿の紛失さえなければなにか
増やせたハズなんですけどねえ。ちょっと残念です。

メナスに関しては表紙絵を広告で見たときに一目ぼれというか、もともとエジプトっぽいものに
目が無い自分のセンサーに引っかからないはずもなく、速攻で決定したんですが問題はその相手。
今回は初めからフタナリものと決めていたので相手は同じ作品の中から、ということになりますが
誰がいいのかちょっと迷いました。
結局オーソドックスにレイナに決まったんですが、描いてみるとこれがまた難しい。
鎧もあんまりかっこよくないし髪型もなんか独特なんで未だに自分の描いたものが
レイナに見えるかどうか自信が無いですけど、フトモモや胸は描き応えがあってなかなか楽しいです。
育ちよさそうなんだけど不器用な感じがするのもなんとなく萌えポイントですねえ。
同様にメナスもカオが独特なんでなかなか似なくて苦労しましたし、なによりあの衣装を
どうごまかすかを考えるのに一苦労でした。なにせオフィシャルも絵によって描き方が
ぜんぜん違うので平均を取るのが大変ですよ。でも健康的な体を描くのは楽しかったなぁ・・・

思うにメナスもレイナも、オフィシャルの絵が秀逸なのでパロディを必要としない感じがすると
自分は少し思うわけで、正直この本がオフィシャルのものが好きな方に受け入れられるかどうか
心配です。なにせF．Sさんはご自身でもフタナリマンガを描いていらっしゃる方なので、自分のような
木っ端作家が描いたところでかないっこないですからねえ・・・僕だって見たいですよ。
オリジナルに隙がないとパロディ物はやりにくいという典型かもしれません。
その反面世界観が自由な分やりようによっては面白いものが出来そうですが、ビジュアル的な
掘り下げは今の自分では本家にはかないませんです。

近況報告。

早いものでついこの間紅白で響鬼を見たかと思ったらもうその次の年の１２月ですよ。
今年は去年とほぼ同じ時期に２冊目の単行本を無事出すことが出来ましたが
内容が対照的な分反応も対照的というか、普段目にしない評価というのも聞けてなかなかに興味深いです。
この本を買っていただいて気に入った方でまだのかたはぜひ買って読んでやってくださいませ。
まぁセールス自体は前の本とさして変わらないような凡庸ぶりですが次につながる結果になれば
それで御の字なのかなと最近は思います。
正直もうちょっと売れて欲しいですがいろいろと数売るためには変えていかなければいけないスタンスや
持たなければいけない手札が何かというのが少し判ってきた気がします。
当面はビジュアル的なものに加えて「面白い話」を作れるようになりたいと思います
絵が先行し続けると飽きるのが早いですから、読ませることにもある程度比重を置いて
キャラに愛着持って読んでもらえるような漫画描きたいですね。
暫くはニッチな要素の掘り下げよりもオーソドックスなエロを研究していこうと思います。
同人誌はその点自由なんで今まで以上にニッチなテーマの掘り下げを続けたいかなと。
まだまだ多様性は失いませんよ。固まったら終わりだと思うんで。

今年下半期日本の玩具に愛想つかして海外の玩具を個人輸入でガンガン買い付けていますが
調子乗りすぎてクレカの請求がどえらいことになってます・・・
なるほどこりゃあカード破産するという人の話も頷けるなと。
皆さんもご利用は計画的に（笑）

最近はライオン丸Ｇとおとぼく見てます。
定時にアニメとか見る習慣が無いんですが、今期は珍しく定時にちゃんと見てますよ。
ＨＤＤは便利ですが、撮りっ放しで見る暇が無いです。
焼いたＤＶＤが溜まる一方・・・

さあて、ほったらかしにしてたwiiでもやりましょうか。
ストラップは腕にきちんと締めて！（笑）

それではまた。

2006年12月31日　黒龍眼

奥付
２００６年１２月３１日
発行
爆乳フルネルソン
印刷
ユニプリント様

禁無断転載

Studio Cambria (bakunyu fullnerson homepage)
http://studio-cambria.sakura.ne.jp/

mail to: aap47400@hkg.odn.ne.jp

bakunyu fullnerson
禁無断転載